

平成26年度事業報告及び附属明細書

## 1 法人の概況

### (1) 設立年月日

平成23年3月4日

### (2) 定款に定める目的

この法人は、平成22年4月以降において宮崎県内で発生が確認された口蹄疫（以下「平成22年口蹄疫」という。）により重大な影響を受けた県内経済及び県民生活の早期の復興及び再建を図ることを目的とする。

### (3) 定款に定める事業内容

- ① 県内市町村における平成22年口蹄疫からの復興の取組を支援する事業
- ② 平成22年口蹄疫に起因する県、県産品等のイメージダウンを回復するために行う観光振興事業
- ③ 平成22年口蹄疫に伴い影響を受けた商工業の回復を図るために行う事業
- ④ 平成22年口蹄疫に伴い影響を受けた畜産業の六次産業化、農商工等連携を推進する事業
- ⑤ 家畜防疫体制の強化に関する事業
- ⑥ 前各号に掲げるもののほか、平成22年口蹄疫からの復興対策のために必要な事業

### (4) 主たる事務所

宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号

### (5) 役員等に関する状況

8ページのとおり

### (6) 職員に関する状況

- ・ 事務局長 1名 宮崎県農政水産部畜産新生推進局長
- ・ 事務局次長 1名 同 畜産振興課長
- ・ 事務局員
  - 派遣職員 1名
  - 嘱託職員 1名

## 2 事業の状況

### (1) 事業の概要

- ①事業団体数 48団体
- ②事業件数 54件
- ③助成等金額 610,388,030円

### (助成事業の内容)

#### 1) 畜産新生分野 126,707,829円 (7団体、7件)

- ① 生産性向上等支援事業  
生産性向上を図るための機器導入の実証、経営分析等システムの推進等
- ② 販路拡大プロモーション事業  
全共日本一2連覇を活かした販路拡大プロモーション等を重点的に行う取組
- ③ 地域防疫等支援事業  
防疫水準の向上、初動防疫体制強化等の地域防疫の充実に資する市町村自衛防疫推進協議会等の取組
- ④ 防疫・畜産振興研究等支援事業  
科学的な知見に基づく家畜防疫や畜産振興等に資する研究や研修・教育事業

#### 2) フードビジネス振興分野 167,964,146円 (13団体、13件)

- ① フードビジネスプラットホーム構築
  - ア マーケットイン強化事業  
マーケットインのためのマーケティング、加工機械等の設備導入、産業人材育成等の取組
  - イ 6次産業化総合支援事業  
農業者等が行う農畜水産物の販路拡大等の流通基盤づくりや施設整備等の取組
- ② 生産・供給体制づくり
  - ア 農業基盤づくり事業  
新生産技術の実証、畑地かんがい営農基盤整備等
  - イ 農業設備整備事業  
低コスト生産や需要に応じた安定供給を図る収量向上に資する設備整備の導入等

#### 3) 中小企業振興分野 87,416,754円 (6団体、6件)

- ① 成長産業基盤支援事業  
中小企業者等のマーケティング等の取組、商業者等の特色ある取組
- ② アンテナショップ・出展等支援事業  
都市部でのアンテナショップの開設、県外・海外等の展示会への出展や商談会の開催等
- ③ 金融対策支援事業  
中小企業の創業・事業拡大などの設備資金等の利子補給又は信用保証料補助

- 4) 誘客対策分野 97,740,711円 (1団体、7件)
- ① スポーツランドステップアップ事業  
スポーツランドのブランド力強化や合宿受入基盤整備等の取組
  - ② コンベンション等支援事業  
コンベンション開催支援や地域の誘客の取組
  - ③ 修学旅行・記紀編さん1300年等推進事業  
教育旅行増加対策、神話巡りツアー、ホテル旅館組合等や「食」の取組
  - ④ 海外観光誘客強化事業  
国際定期便等を活用した韓国・台湾等からの誘客の取組
- 5) 地域振興分野 124,696,000円 (18団体、18件)
- ① 西都・児湯広域復興支援  
西都・児湯地域の市町村の広域的な統一コンセプトに基づく拠点整備等の象徴的な取組
  - ② 西都・児湯広域連携支援  
西都・児湯地域の団体が広域的に実施する交流人口の拡大を図る取組
  - ③ 活力ある地域づくり支援  
西都・児湯地域以外の市町村が地域の活力を引き出すために実施する特徴ある取組
- 6) その他 5,862,590円 (3団体、3件)
- ① 連携・協働復興支援事業  
都農町に開設した「ふれあいの居場所」を中心に、人と地域のつながりによる新たな地域づくり活動の創出に資する取組
  - ② 復興メモリアル支援事業  
口蹄疫からの復興等のメモリアルに資する事業
  - ③ 財団直接実施事業  
口蹄疫に関する意識を風化させないための情報発信等

○詳細は、別添資料2のとおり

## (2) 評議員会及び理事会の開催状況

### ① 評議員会

#### ア 平成26年度定時評議員会

- ア) 日 時：平成26年6月5日(木)
- イ) 場 所：宮崎県庁本館3階特別室
- ウ) 内 容：平成25年度事業報告及び決算について  
平成26年度事業の概要について 等

#### イ 評議員選任に係る書面決議

- ア) 日 時：平成26年7月15日(決議日)
- イ) 内 容：評議員の選任について

#### ウ 理事及び監事選任に係る書面決議

- ア) 日 時：平成27年3月31日(決議日)
- イ) 内 容：理事及び監事の選任について

### ② 理事会

#### ア 平成26年度第1回通常理事会

- ア) 日 時：平成26年5月27日(火)
- イ) 場 所：宮崎県庁本館3階特別室
- ウ) 内 容：平成25年度事業報告及び決算について  
平成26年度事業の概要について 等

#### イ 常務理事選定に係る書面決議

- ア) 日 時：平成26年6月5日(決議日)
- イ) 内 容：常務理事の選定について

#### ウ 平成26年度第2回通常理事会

- ア) 日 時：平成27年2月16日(月)
- イ) 場 所：宮崎県庁本館3階特別室
- ウ) 内 容：平成26年度事業の実施状況について  
平成27年度事業計画について  
平成27年度収支予算について 等

平成26年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
(1) 生産性向上等 支援	公益社団法人 宮崎県畜産協 会	生産性向上等 支援事業	①畜産新生モデル実証 生産性向上促進機器を導入した技術実証 ②畜産新生コンサル強化システム整備 技術・経営分析システムの構築・運用 ③飼料自給率向上整備 県産飼料作物等の増産、地域飼料資源活用拡大に必要な 実証や機器整備の支援	27,408	①畜産新生モデル実証 機器整備：5農協で実施(牛歩lilletほか) ②畜産新生コンサル強化システム システム構築(126.9月)、運用 ③飼料自給率向上整備 飼料用米の栽培実証：7箇所を実施 機器整備等：32集団	生産性向上に係る技術実証による他の農家への波及が見 込まれる ・技術・経営分析の随時提供により、生産やコストの課題 等の改善による畜産農家の経営安定を図る ・県産飼料の生産体制の強化による飼料の自給率向上が見 込まれる
	公益社団法人 宮崎県畜産協 会	畜産新生児牛地域復興支援事業	・繁殖用雌牛の自家保留を促進 ・乳用牛の増頭、高繁殖期の生乳生産確保を目的に、優良乳用 雌牛の導入を促進す	5,032	西都、児湯地域における ・優良雌牛の導入支援(172頭) ・乳用雌牛導入支援(56頭)	・当該事業の導入計画に対し、早期に飼養頭数を達成 (J A 西都)
	公益社団法人 宮崎県畜産協 会	家畜市場関連施設等整備事業	家畜市場の機能向上に繋がるセリシステムの整備に対し、 一部を支援	2,013	5家畜市場で導入 ・セリ精業業務用サーバー等の整備	家畜市場の機能高度化が実現され、運営がスムーズに行わ れるとともに、購買者の場に繋がり、生産者の所得向上が見 込まれる。
		計	3 団体 3 件	34,453		
(2) 販路拡大プロ モーション	宮崎牛及び 県産食肉販売 戦略会議	県産食肉の販売力強化・消費拡大 対策事業	①TV、広告看板等によるPR ②フェア開催、ネット販売強化、販売促進資材の提供、市 場調査 ③県外での宮崎牛常設販売に向けたテストマーケティング 百貨店等でのフェア開催等 ④県内外のイベント等における試食PR	20,105	①TV、広告看板等によるPR(関東、関西、北部九州) ②販路・消費拡大対策(関東、関西、北部九州) ③フェア開催等(関東、関西、北部九州) ④海外輸出対策 米国、香港、マカオほか ⑤県内外のイベント等における試食PR	・県外への積極的なPR活動やフェア開催等により、取引先 との関係強化や新たな販路開拓への期待が増大 輸出牛指定店 466店舗(125.464店舗) 輸出量 148 t(対前年度比120%) ・引き続き積極的なプロモーション活動を展開し、さらなる 販路・消費拡大を図る
	宮崎牛及び 県産食肉販売 戦略会議	新食肉ビジネスモデル支援事業	県産食肉を活用した産地加工商品の新規開発や付帯機器導 入支援 ・産地加工商品の新規開発支援 ・産地加工商品の新規開発に要する付帯機器の導入支援	13,400	・産地加工商品の新規開発支援：1社 ・産地加工商品の新規開発に要する付帯機器導入支援 5社 新商品：「からいもどん 焼き豚」ほか	・新商品開発の基盤整備と購買ニーズに対応した販売体制 の構築が実現 ・県産食肉肉を売った新商品開発による食肉業者等の新たな ビジネス展開と県産食肉の販路・消費拡大に期待される
	公益社団法人 宮崎県畜産協 会	地域防疫等支 援	市町村自衛防疫推進協議会等が実施する備蓄用防疫資材等 の購入、倉庫や車両等消毒用施設整備など、地域防疫の充実 に資する取組への助成	36,750	○家畜防疫情報システム 17の市町村自衛防疫推進協議会に助成 ○消毒巡回指導、動力噴霧器の導入、車両用消毒マットの整 備、防疫用資材備蓄等 9の市町村自衛防疫推進協議会に助成 ○PED消毒ポインント運営管理 9自防等	・地域独自の特色のある取組 高齢者等の農家に對しての農場巡回消毒の実施など、きめ 細かな取組を実施 ・消毒ポインント整備事業の効果 当該市町村に限らず広域的な効果も発揮
		計	2 団体 2 件	33,505		
		計	1 団体 1 件	36,750		

平成26年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
1 畜産新生分野	国立大学法人 宮崎大学 防産・畜産振興 研究等支援	宮崎県の畜産業の新たな成長に向けた研究プロジェクト	<p>(主な研究内容)</p> <p><b>テーマ1：生産性の向上</b>                      (1) 早期出荷肉出荷プログラムの構築                      (2) 安定した肉質・肉量、飼料効率、繁殖効率に優れた黒毛和種集団造成のための新たな選抜基盤の検討・提案</p> <p><b>テーマ2：生産性のコスト低減</b>                      (1) 良質自給粗飼料の周年生産体系の確立及び休耕地・休閑地における放牧利用の推進                      (2) 南九州に適する新規の暖地型イネ科牧草ルンジュラスの育成と粗飼料生産体系の構築                      (3) 地域未利用資源の飼料化による粗飼料自給率の向上と食肉の安全かつ肉質向上を目指した取組</p> <p><b>テーマ3：防疫体制の強化</b>                      (1) 養豚経営における安全・安心と生産性の向上を目的とした疫学データベースの構築                      (2) 重要家畜伝染病の危機管理と疾病コントロールによる畜産基盤の構築                      (3) 防疫体制の強化(家畜埋却地の適正管理)                      ①家畜埋却地の地下水の移動と水質の予測モデルの構築</p>	22,000	<p>(主要なもの)</p> <p>①短期肥育用飼料給与プログラム検討のための飼料分析、給与プログラム解析                      ②早期出荷肉出荷区および通常出荷区各3頭の供試牛を選定                      ③供試牛の超音波診断による肉重・肉質、体組成による増体の経時的変化、血液一般成分解析、バイオアシミンによる肥満長動・中骨筋・半腱筋の脂肪・アミノ酸の変化を調査                      ④筋肉構成、脂肪交雑の細かさ、ロース芯形状の生体早期診断手法の検討                      ⑤脂肪織症・シコリの発生機序の解明と予防対策</p> <p>①埋却地の衛生管理に優れた有用性を示した矮性ネピアグラスを、埋却地に加え新作放棄地に移植し、定着状況の調査、放牧適性の検討、傾斜地における土壌流亡性の調査を実施</p> <p>○南九州の主要草種ルンジュラス及び新規導入牧草ブライキアリアグラスを用いた                      ①養豚肥効効果の調査                      ②大型機械による腐敗性の消化性評価                      ③肉用繁殖牛と育成牛の消化性評価</p> <p>①笹サイレーズの細菌学的解析                      ②プロバイオティクスとなりうる有用細菌の検索                      ③笹サイレーズの品質・栄養評価に関する研究、及び食中毒排除能の評価試験                      ④“笹サイレーズ”抽出液のコクジンジウム殺滅効果など</p>	<p>(主要なもの)</p> <p>①27ヶ月齢出荷を目指した短期肥育用飼料給与プログラム案を設計                      ②早期出荷区および通常出荷区各3頭の供試牛を選定                      ③選定した供試牛の肉量、肉質、増体の経時的変化を調査し、短期肥育用飼料給与プログラム案を設計                      設計した同プログラムを用いて給与試験を実施</p> <p>①超音波診断、血液成分の経時的測定、遺伝子多型解析を実施し、筋肉切開面の筋肉・蓄積脂肪の関連性を検討中                      ②血清ピタミンA濃度が低値であることが、肥育牛における脂肪織症の発生に関連することが示された</p> <p>・佐土原町広原の耕作放棄水田転換地に、造成2年目の放牧利用を2回実施。越冬期間は、イタリアンライグラスを播種し、春季に2回の放牧利用を実施。                      ・高岡町仁田尾の矮性ネピアグラスがほぼ越冬、新たに約480㎡に栽培拡散し、秋季に2回の放牧利用を実施。                      ・県立高千穂高校宮尾野球場の傾斜草地に、普通種ネピアグラスと矮性ネピアグラスを移植し、刈取り・採草利用を実施。傾斜地の土壌流亡性の調査も実施。</p> <p>①養豚肥効の増加に伴って、程長と葉身長は高くなる一方、葉幅および草丈の変化は認められず                      ②ルンジュラスの乾物収量は路徑により低下したものの、ローズグラスより多かつた                      ③ルンジュラスは、生育とともに高まるNDF含量が他の主要草種より小さいことを確認</p> <p>①43株の半分以上が乳酸菌。笹サイレーズから乳酸菌を分離した際の優勢菌種を抽出                      ②笹サイレーズの品質は、低温期と同様に閉封後1ヶ月間は長期安定的な品質の維持を示唆                      ③“笹サイレーズ”抽出液のコクジンジウム殺滅効果は確認されず</p>
		計	1 団体 1 件	22,000	<p>①養豚生産情報(繁殖・肥育・群)を広域的に一元記録するデータベースを構築するとともに、成績計算、時系列解析・相対比較ができる機能を構築                      (各農場で比較が可能となった)                      ②県内の生産記録調査の継続実施に加え、比較対象として鹿児島県の実験生産農場の生産記録を収集                      ③鹿児島県の実験生産農場の生産性の改善を行い、協力農場の増加と収集データを基にした疫学解析を実施                      ④PEDの疫学調査を実施</p> <p>①県内の口蹄疫感染リスクの高い場所を地図上にプロットし、より有効な消毒ポイント設置や交通規制等の防疫体制を可能にした。様々な防疫対策下における被害予測、県内農場分布に基づく有効な対策を計画</p> <p>①1輦測井(川南町八方)から20 mg-N/L超の硝態態窒素濃度を連続して観測                      ②大腸菌と大腸菌も検出され、ふん便汚染の影響も認められる。汚染源は推測予定</p>	
合計(1 畜産新生分野)		7 団体	7 件	126,708		

平成26年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等	
① マーケティング ② 6次産業 ③ 化総合支 援	宮崎県中小企業 団体中央会	発展型食品産業振興事業	県内農産物の付加価値を高める商品開発、販路開拓等への取組を助成	27,759	・ソフト事業(商品開発、販路開拓等)：2社 ・ハード事業(機器導入)：6社に助成 ・12の商品開発(「延岡アンチョビ」ほか) ・食品機械、農業機械開発等に関する事業 1 社に対し助成 「低温調理機能付き冷蔵ショーケースの開発」 ・設備導入費用等(ハード事業) 5社に対し助成 (エアシャワー、蛍光灯のLED化、細菌検査キット等)	売上増と県内農業への貢献及び雇用創出に寄与 ・合計(億7,450万円の売上増)の見込み ・新規雇用：13名、さらに8名の雇用見込み ・食品の販売期間延長、廃棄量の削減に寄与する装置のため、広範囲に市場展開できると見込まれる。 ・エアシャワーや蛍光灯の飛散防止など、食品加工現場における異物混入防止に必要不可欠な対策を行うことで、取引先の信頼が得られ、継続的取引が期待される。また、新規の取引先開拓も期待できる。	
	一般社団法人 宮崎県産業振 興機構	食品・農業機械開発支援事業	県内機械製造企業の食品機械・農業機械の開発に対する取組を支援し、県内機械製造企業の認知度の向上や食の加工分野の強化を図る。	825	・設備導入費用等(ハード事業) 5社に対し助成 (エアシャワー、蛍光灯のLED化、細菌検査キット等)	・エアシャワー導入や蛍光灯の飛散防止など、食品加工現場における異物混入防止に必要不可欠な対策を行うことで、取引先の信頼が得られ、継続的取引が期待される。また、新規の取引先開拓も期待できる。	
	公益財団法人 宮崎県商工会 興機構	フードビジネス衛生管理向上支援 事業	HACCP、ISO、SOPなど食品の衛生管理の認証取得を目指す企業や衛生管理の向上を目指す企業等に対して支援	6,507	○人材育成講習会開催(9月～11月) ○宮崎フェア(H27.1.30～3.2) 59社出店 期間売上：3.5億円 ○ネットビジネス勉強会(3回開催：8月～9月)	○人材育成講習会参加者 11企業12名 ○ネットビジネス勉強会参加者 延べ73社78名 ○参加企業間でのアドバイス等県内ネットワーク形成が推進して ○ネットを通じて県内農産物や農産加工品の販路開拓の可能性が高まっている	
	一般社団法人 みやざき食の魅力発信プロジェクト 推進事業	みやざきのフードビジネスを支援 するインターネットビジネス普及促 進事業	インターネットビジネス(インターネッティング)への取組を強化 1 人材育成 2 ネットショップビジネスモデルでの宮崎フェアの開催 3 ネットビジネス勉強会の実施	4,247	1 宮崎食材プロモーション(H27.2.4開催 東京) 宮崎食材の消費拡大・販路開拓(地産外商) 参加者：160名 2 参加者：宮崎牛、ブランドポーク、青島どれはもほか 福岡：ブランドポーク、佐土原ナス 東京：みやざき 平成26年10月15日開催(参加者数380名) 基礎講演及び県内産学官の代表者によるパネルディスカッションの開催 みやざき美味しい食づくりプロジェクト 県産の魚を使用したレシビを県民より募集 応募総数12点、最優秀レシビ2作品、優秀賞レシビ8作品	○宮崎ブランド食材のPR及び新たな販路開拓が期待 ○新たな流通ルートの新規及び問題点の整理	
	一般社団法人 みやざき食の魅力発信プロジェクト 推進事業	みやざき食の魅力を発信する事業	フードビジネスに関する県民理解・醸成を図るため、推進大会を開催し、農林漁業者や食料品製造業者等の取組意欲の向上を図る。 1 みやざき美味しい食づくりプロジェクトの開催 2 みやざき美味しい食づくりプロジェクトの開催	1,975	20社に対し助成(プロイラー加工品など20件の商品化) ・パイヤー等マーケットの意見聴取や調査 ・食品デザイン ・食品レシビの作成 ・マーケティングの検討 ・テストマーケティング など	○フードビジネスに取り組み機運の醸成が図られた 「みやざき美味しい食づくり」により、宮崎県産農産物を使用した新しい食の提供が期待される	
	公益財団法人 宮崎県産業振 興機構	みやざきフードビジネス推進事業	フードビジネス相談ステーションでのピアリングを起点とし、デザイン、レシビ、マーケティングなどのアドバイスを行い、事業化を促進する。	7,059	20社に対し助成(プロイラー加工品など20件の商品化) ・パイヤー等マーケットの意見聴取や調査 ・食品デザイン ・食品レシビの作成 ・マーケティングの検討 ・テストマーケティング など	フードビジネス相談ステーションへの相談案件の解決へ向けた取り組みが進むことで、各事業者の企画力・商品力アップが図られ、フードビジネスを中心とした本県経済のポテンシャルの推進に資する。	
	公益財団法人 宮崎県産業振 興機構	フードビジネスアラウンドアップ 支援体制構築事業	6次産業化トライアルサポート事業(ソフト事業) (1) 農業支援等が行う新商品開発、販路開拓等に要する経費の支援 (2) 農業団体の支援 6次産業化推進支援整備事業(ハード事業) 農産物の生産・加工・販売等に必要設備の整備に係る経費の支援	53,372	1 6次産業化トライアルサポート事業(ソフト事業) (1) 新商品開発・販路開拓等(食用甘薯の新商品ほか) 事業実施主体 15件 (2) 推進会議や研修会開催等 事業実施主体 3団体 2 6次産業化推進支援整備事業(ハード事業) 事業実施主体 10件(ミニマート加工製造機器ほか)	・複数の事業実施主体では、新商品の開発に着手、販売を開始、商談成立や売上増加など、成果も出始めてきている。 ・また、醸成された多種多様な総合化学工業事業計画の実現が進んでいる。 ・県事業との連携により相乗効果が発揮され、6次産業化を目指す事業者等に対し、きめ細かな支援体制が構築されたことにより、農産物の生産・加工・販売等により、農村地域の活性化が期待される	
	公益財団法人 宮崎県産業振 興機構	みやざき6次産業化総合支援事業	6次産業化トライアルサポート事業(ソフト事業) (1) 農業支援等が行う新商品開発、販路開拓等に要する経費の支援 (2) 農業団体の支援 6次産業化推進支援整備事業(ハード事業) 農産物の生産・加工・販売等に必要設備の整備に係る経費の支援	38,040	○新商品開発 2種類(プレミリアA12g、ノーマル12g) ○プロモーション開催(東京11/30) 郷土×宮崎×キャビア1983コラボイベント 参加者：98社48人(マスコミ等)	○新たな商品ラインナップ(12g)を加えたことで、汎用性が広がり、百貨店の取り扱いの場面に繋がった ○知名度の高いホテル等でイベントとして採用してもらったことで、宮崎キャビア1983のブランド価値が高まった	
	小計	小計	7団体 7件	7団体 7件	53,372		
	小計	小計	2団体 2件	2団体 2件	43,040		
計	計	9団体 9件	9団体 9件	96,412			



平成26年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
① 農業基盤 づくり	宮崎県土地 改良事業団体 連合会	みやざき抑地かんがい管 農業基盤整備 事業	①新技術生産基盤整備 地下かんがいシステム等の新技術を導入した生産基盤の 整備に要する経費の助成 ②かんがい用水有効利用促進整備 散水施設や給水塔の整備等に要する経費の支援 ③小規模基盤整備 漏水防除に必要な水路の整備等に要する経費の支援 ④養用水利用促進調査 かんがい用水を有効的に利用するために必要な調査の 助成	10,986	①新技術生産基盤整備 1箇所 ②かんがい用水有効利用促進整備 6箇所 ③小規模基盤整備 1箇所 ④養用水利用促進調査 1箇所	・散水器具や茶の間の散水制御施設の整備により、抑地かんがい用水の有効活用や散水作業の省力化が図られた ・養用水利用のための減菌施設の設置など、防疫体制の構築に向けた取組を行い、安全な水利用が可能となった ・さらに、養用水調査利用調査を実施することで、かんがい用水の有効利用について、具体的な検討が可能となった
	宮崎県農業 再生協議会	省エネ設備等導入支援・耐候性ハウス導入支援事業	・小型木質バイオマス暖房機等省エネ設備導入支援 ・低コストのバイオマス暖房機の調査支援 ・低コスト耐候性ハウス導入に伴う増設経費の一部を助成	27,127	○省エネ設備導入、暖房機開発の推進 ・省エネ設備等導入支援 : 3 集団 ・バイオマス暖房機開発支援(実証等) : 3 社 ・耐候性ハウス調査支援 : 3 集団	・省エネ設備導入や低コスト暖房機の開発、強化型ハウスの整備の支援により、生産コストの低減や農業所得の向上が期待でき、施設園芸農家の経営安定に寄与する
② 農業設備 整備	宮崎県農業 再生協議会	土地利用型品目産地育成支援事業	またはこ産地や埋却地等を活用した加工・業務用ニーズに対応した土地利用型品目導入のための高機能農業機械等の導入を支援	11,337	○土地利用型品目の産地育成、加工・業務用機械等の導入 ・支援団体：9 事業主体	・市場から高いニーズのある加工・業務用など、土地利用型品目の面積拡大が図られた ・土地利用型品目の産地育成と加工・業務用など、新たな市場ニーズに対応が可能
	宮崎県農業 再生協議会	高品質・安定生産化及び高収益生産技術導入支援事業	農産物の安定生産及び生産拡大を図るために必要な施設整備費、高収益を実現する設備の導入を支援	22,152	○高品質化、高収益に資する設備、生産技術の導入の推進(高機能性フィルム、防虫ネット、炭酸ガス発生装置、養液土耕システム等) ・設備導入支援：20 事業主体	・高機能性フィルムの導入、防虫ネットの導入等によるウイリス病対策や高品質化や高収益化が実現 ・導入支援による生産性の向上による収量増が期待される
小計				60,616		
計				71,552		
合計(2 フードビジネス振興分野)				167,964		

平成26年度宮崎県人口障害復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
(1) 成長産業基盤 支援	一般社団法人 宮崎県商工会 議所連合会	成長産業基盤支援事業	県内商工会議所が行う成長産業化に資する実効性の高い取組を支援	22,000		
			<p>○地産地消促進事業(宮崎商工会議所) 地産地消、100万円、中山間の3つの具民運動を促進するため、消費者の購買意欲が高まる年末に県産品を食品とした本事業を実施する</p> <p>○みやざきBeeプロジェクト事業 宮崎市中心市街地のビル屋上で養蜂を行い、採取されたハチミツ等を利用した商品開発</p> <p>○中心市街地賑わい創出事業(宮崎商工会議所) 大型店舗とともに、面的な大街市袋を開催する。また、各種情報媒体を利用したPRを実施</p> <p>○「チョウウザメの郷・こぼやし」定着化事業(小林商工会議所) ①「小林チョウウザメ祭りちらし」等のPR ②「チョウウザメを使った関連商品のプランディング」 ③独自イベントの実施等</p> <p>○「ずばなもん」商品の販売促進事業(延岡商工会議所) 東九州自動車道開通にあわせ、「ずばなもん」商品を中心とした(大地の恵み、海の幸、島の恵み)及び福威会等の開催等の販売拡大等の取組</p>	<p>・売上換算額：約33億円</p> <p>・昨年度に引き続き、ほとんどの県産品を県産品としたことと、県産品への注目がより一層高まるきつかけとなった</p> <p>・採収量約170kg(H25:125kg)のハチミツを採取(無農薬検査済・糖度80度以上)</p> <p>・販売数1,517瓶(H25:705瓶)</p> <p>・高校生と連携した「みやざき街なかハチミツ」の販売やオリジナル商品の開発を行うことで、様々な新商品のアイデアが生まれるきつかけになり、人的ネットワークの構築に繋がっている</p> <p>・出店数：639店舗(H25：673店舗)</p> <p>・市内で開催されるイベントと連携したこと、滞在時間の延長等、多くの集客となった</p> <p>・街市が、新商品や店舗のPRの場となり、試験的な販売の機会としても活用され、各店舗の販路拡大に繋がった</p> <p>・他団体からPRやキャンペーンの場としての甲し出が増加</p> <p>・通行量：通常時の1.7倍から2.3倍に増加</p>		
					<p>・地産地消及び100万円泊県民運動を推進するため、消費者の購買意欲が高まる年末に、買い物した額に応じ抽選を行い、県内農産品等を食品として実施</p> <p>・新たな商品開発(四季折々の商品)に向けたハチミツの増産化</p> <p>・高校生と連携した商品開発・販売</p> <p>・街市を年10回開催予定</p> <p>・大街市祭を7月、10月に実施</p>	<p>・販売売数 「小林チョウウザメ祭りちらし」及び「小林チョウウザメに寄り添」：計13,000食以上</p> <p>・広報活動及び販売促進の効果が出ている</p> <p>・他県、他団体からの視察申込み：16団体、約300名</p>
					<p>①「小林チョウウザメ祭りちらし」等のPR 新聞や観光パンフレット、旅行紙等に掲載</p> <p>②「チョウウザメを使った関連商品のプランディング」 「小林チョウウザメ菓業弁当」「小林チョウウザメハンバーガー」を開発・販売等</p> <p>③独自イベントの実施等 毎月9日をチョウウザメの日として、提携店においてイベントを開催</p>	<p>・新商品販売及び高談会開催 参加9事業者のうち、5者が商談成立または商談継続中</p> <p>・県市圏への売り込みを固めることにより、効果的な販売強化が期待</p>
					<p>・道の駅等を活用した販売促進のためのPR</p> <p>・新商品のパッケージデザイン化等</p> <p>・レストランやホテルでの商談会の開催(1～3月)</p>	

平成26年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
(1) 成長産業基盤 支援	宮崎県商工会 連合会	成長産業基盤支援事業	<p>商工団体等が地域の中小企業者の成長に向けて実施する取組を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内商工会が推薦する創業者の取組を支援</li> <li>新商品・サービスの開発</li> <li>販路拡大につながる取組</li> <li>集客アップにつながるICT、アドバイザー等の支援</li> </ul>	9,008	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月に商品化。販売開始</li> <li>宮崎よかもん市への出店など販路拡大に努めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売数も順調に推移(自動車及びバイク)</li> <li>新たなメニューに取組、技術面及び新たな顧客拡大に繋がった</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業者等(高岡町商工会員)</li> <li>自動車保険適用フィルム(プロテクションフィルム)導入事業</li> <li>県内初の自動車保険適用フィルム導入による販路拡大と技術力向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示会</li> <li>9月23日開催。各種媒体でのPRもあり、3件の受注</li> <li>ミニ量販子講習会</li> <li>16組42名の参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>量に対する古くさいイメージの払拭が図られた</li> <li>県製造の取組により、好感度を上げた</li> <li>これらの取組により、日本の文化である“たたくみ”に対するイメージ技術伝承や新築等物件への販路拡大に繋がることを期待</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業者等(高岡町商工会員)</li> <li>自社事業者を一般消費者に紹介した新たな顧客開拓</li> <li>自社工場において展示会の開催</li> <li>ミニ量販子製作体験講習会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗改装、菓子部門の機器導入</li> <li>10月～営業開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>菓子部門設置により、売上げ増及び新規雇用(2名)創出</li> <li>相乗効果が確実に表れ、今後は、賑わい、訪らいの場として、広く町民に親しまれる店舗を目指していく</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業者等(国富町商工会員)</li> <li>安心と暮らしを創る保険と菓子のW工房事業</li> <li>保険の困りイメージを払拭するため、喫茶スペースや菓子製造を行い、気軽に入店できる新たな店舗を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗改装(11月完成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗改装後、売上げ増が期待でき、若年層の顧客が増えるなど、カフェとの相乗効果が出始めている</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業者等(国富町商工会員)</li> <li>「HeartCafé」による町と店の元気づくり事業</li> <li>理容室内にカフェを併設し、本格的なコーヒー等飲物と軽食を提供することにより、相乗効果による顧客増を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州食の展覧会商標への出品(12月、11.19～20)</li> <li>オリジナル調味料「うまい湯万能タレ」の試食・商標登録</li> <li>第49回スーパーマーケットトレードショー(東京、2月)出展予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナル商品開発(万能タレ)は、常温で持ち運びが可能となるなど、野菜にも使えるなど、用途が広がり、さらなる販路拡大が期待できる</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業者等(高橋町商工会員)</li> <li>発酵食品を活用したオリジナル調味料の開発</li> <li>発酵調味料(タレ)の開発等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新商品(レトルト食品)開発に向けた試作品作成</li> <li>高温高圧調理器の設置、真空調理法、クックチルド等の新調理システムの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配食ルートにのった、高品質、高機能な食品の開発による収益拡大が期待できる</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業者等(三股町商工会員)</li> <li>新調理システムを活用した販路開拓事業</li> <li>配食事業の新システムを活用した新商品開発と販路開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試食品開発</li> <li>試食会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試食会を経て、三股町物産館等で販売(127.1～)</li> <li>現在、数社からの引き合いあり</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業者等(三股町商工会員)</li> <li>どぶろくを使った新商品開発</li> <li>どぶろくと味噌を混ぜ合わせた新商品を開発、販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>川南軽トラ市への出店</li> <li>お米ギフトのパッケージデザイン等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お米ギフト商品開発。販売や川南軽トラ市等新たな展示会で前年比売上20%増が期待できる</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業者等(高千穂町商工会員)</li> <li>高千穂米のギフト商品化と販路開拓事業</li> <li>お米ギフトの開発、新たな販路開拓等への出品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州各地の展示会に出店</li> <li>日向白米(むむかばくわいたん)の知名度も向上</li> <li>建屋構造体完成</li> <li>その他「製菓マドラード」の商品化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料用木材だけでなく、二次加工を施し、マツカージ機やインテリアグッズなど新商品を開発・ブランド化及び販路拡大していく</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業者等(北郷町商工会員)</li> <li>白炭の製炭習熟による生産・販売力向上事業</li> <li>希少性のある正宗竹白炭の生産向上等備長炭の生産量向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型商品開発のための機器導入</li> <li>看板製作時間の短縮が可能となった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看板製作時間が1/3になり、大幅な省力化が実現</li> <li>企業カラーを正確に出せるようになったことから、好評を待っており、新規顧客が増え、今後の展開に広がりが期待できるようになった</li> <li>対前年売上比114.4%</li> </ul>	
計	2団体	2件		31,008		

平成26年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
(2) アンテナショップ・出張等支援	公益財団法人 宮崎県産業貿易振興センター タ	宮崎県産品国内外総合販路拡大事業	国内外において県内企業の取引促進を支援し、一層の販路拡大、消費拡大を図る	30,000	<p>【国内】</p> <p>(1) アンテナショップ設置 福岡地区：イオン香椎本店 (9/3～9/17) 阪急百貨店博多店 (12/3～12/16) 大塚地区：阪急百貨店うめだ本店 (3/2～3/14) 岡山地区：高島屋百貨店岡山店 (11/5～11/18) (2) バイヤーとの商談会 関東・関西地区等のスーパーや百貨店のバイヤーと本県企業視察や商談会等を開催。スーパー「こだわりや」など</p> <p>【海外】</p> <p>香港：Japan Premium Store (臨時実施) 香港定期便就航記念イベント (12/11) によるPRプロモーション 台湾：裕毛屋フェア (1/21～1/27) 日本料理店「えん」：PRプロモーション アセアン：Japan Expo THAILAND 県産品PRプロモーション (2/6～2/8)</p>	<p>【国内】</p> <p>(1) アンテナショップ イオン香椎本店：商品数78、売上746千円 阪急百貨店博多店：商品数18、売上不明 高島屋百貨店岡山店：商品数10、売上不明 (2) 商談会 ・スーパー「こだわりや」参加者数：10社</p> <p>【海外】</p> <p>・香港：Japan Premium Store 県産品32品目のデスタト販売を実施 香港定期便就航記念イベント レセプション参加者76名</p>
				3,000	<p>・第5回関西医療機器開発・製造展 取引成立：1件 試作・見直し・図面検討等の高稼働数：11件程度 後日訪問約束の取り付け件数：64件程度 ・昨年にくらべて出展でき、昨年以上の効果が期待できる。</p>	<p>・第5回関西医療機器開発・製造展 取引成立：1件 試作・見直し・図面検討等の高稼働数：11件程度 後日訪問約束の取り付け件数：64件程度 ・昨年にくらべて出展でき、昨年以上の効果が期待できる。</p>
(3) 金融対策支援	公益財団法人 宮崎県産業振興機構	アンテナショップ「ひむかよかもん」市場を移とした商品開発並びに販路拡大強化事業	県内39商工协会会员等の中小企業者、小規模事業者の商品情報発信(データベース化)、販路開拓を総合的に進めるためのアンテナショップの運営、開設セミナー商談会の開催、ブランディングを目的としたセミナー開催及びブランディングの支援等	8,000	<p>アンテナショップ「ひむかよかもん市場」の運営 ・県内商工协会会员事業所商品の情報発信 ・商談会開催 ・県内商工会地区の地場産品を集約したデータベース運用 ・通信販売の導入</p>	<p>・売上高：約2,087万円(前年比14%) ・今後、データベースの登録内容の整備を行い、商談会の成立向上に繋げる ・商談会については、中小・小規模事業者にとっては、絶好の機会となっている。</p>
				15,409	<p>中小企業者から9市町への申請状況 ①申請補助件数：120件 ②補助対象となった中小企業の総投資額 約635,000千円</p>	<p>・中小企業者の経営多角化・収益改善を図るのための太陽光発電事業への新規参入や業務効率化のための新規設備導入促進 ・新規創業者等資金需要の喚起が図られ、県内経済の活性化に寄与</p>
計				41,000		
計				15,409		
計				15,409		
合計(3 中小企業振興分野)				87,417		

平成26年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分(分野)	期成事業者	事業概要	助成額	実施状況	成果等
(1) スポーツランドドスタップアップ		スポーツキャンプ・合宿やスポーツイベントなどに対する支援	13,000	<p>○プロ野球ファーム日本選手権等への支援、ゴルフファンズ(11月) 歓迎送迎の受給</p> <p>○第18回IBAF女子野球ワールドカップ2014宮崎大会 9/1~9/7 8ヶ国参加 観客数64,300人 観客数5,785名</p> <p>○プロ野球ファーム日本選手権 10/4 観客数5,785名</p> <p>○第3回アサクレディーズ・ゴルフ・トーナメント 3/27~3/29 出場選手 108人 観客数 12,622人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業効果額 約146,000千円</li> <li>・みやざきのアフターコンベンション環境 MICE開催環境の長さについて、実働いただき「コンベンション開催地としての宮崎」の知名度向上に寄与</li> <li>・ホテル、飲食店等各種業界への経済効果が図られた</li> </ul>
(2) コンベンション等支援		コンベンションの本県での開催を積極的に支援する。市町村等が行うアフターコンベンションの環境整備に係る支援	9,631	<p>【コンベンション開催支援状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援件数…14件</li> <li>・延べ参加者数…6,362名、延べ宿泊者数…4,756名</li> <li>【アフターコンベンション環境整備支援】</li> <li>・助成件数…2件</li> <li>・延べ参加者数…66,550名、延べ宿泊者数…1,595名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業効果額 約52,000千円</li> <li>・セールズプロモーション活動等を実施した全国主要都市の旅行会社や学校関係者の中で本県の素材や認知度、関心度が高まった</li> <li>・宮崎市のマリン体験や北きりしま田舎物語推進協議会をはじめとする観光民泊を中心に、新規予約や問い合わせが昨年度に引き続き増加してきている</li> <li>・本県単独だけではなく、南九州3県での教育旅行モデルコースを充実させたことにより、これまでの観光の幅が広がっている</li> </ul>
(3) 修学旅行・記紀編さん1300年等推進	公益財団法人みやざき観光コンベンション協会	教育旅行推進事業	(4,227)	<p>【本県の教育旅行受入状況】</p> <p>見込み：約5,200名 (H25実績4,164名)</p> <p>○九州観光推進機構や南九州各県等と連携した関西や首都圏等でのセールズプロモーション活動等を実施</p> <p>【今後の予定】</p> <p>○四国の旅行会社に対するセールズプロモーション活動の実施</p> <p>○種子島・屋久島の旅行会社の招へいツアーの実施等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○神話のふるさとみやざきの広報</li> <li>・東京メトロ新宿歌舞イベント 9/15~16</li> <li>宮崎の神話のPR</li> <li>・ツアーリズムEXPOジャパン 9/25~28</li> <li>東京ビッグサイト(観光PRブース設置)</li> <li>○東九州自動車道直通イベント</li> <li>【大分宮崎ドライブイベント】</li> <li>○宮崎カーフェリー神戸航路就航</li> <li>宮崎地区からの誘客強化のための観光PR</li> <li>・第25回KOBEMERIKENファンフェスティバル44回神戸まつり等への出展</li> </ul>
(4) 海外観光誘客強化		記紀にゆかりの深い宮崎の「神話」、「伝説」の魅力を紹介する	(33,125)	<p>県内5コースで運行</p> <p>①「高千穂コース」毎週日曜日運行(40回)</p> <p>②「那覇・日向・延岡コース」毎週土曜日運行(8回)</p> <p>③「那覇・西郷・西米良コース」毎週土曜日運行(11回)</p> <p>④「日向・延岡・高千穂コース」毎週土曜日運行(12回)</p> <p>⑤「都城・高千穂コース」毎週土曜日運行(8回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○神話のふるさとみやざきの広報</li> <li>・東京メトロ新宿歌舞イベント</li> <li>来場者：約60,000人/日</li> <li>体験：1,500人(青島神社の結びこより)</li> <li>・2020東京五輪オープニングセレモニーへのアピール</li> <li>・ツアーリズムEXPOジャパン</li> <li>・パンフレット、観光相談等</li> <li>○東九州自動車道直通イベント</li> <li>ドライブパス申込件数 2,604件</li> <li>【佐伯-蒲江間】開通記念イベント(3月)</li> <li>○宮崎カーフェリー-神戸航路就航</li> <li>観光PR、物販ブースの設置や地元紙への掲載PR</li> </ul>
		県内各地に点在する神話や伝承にまつわるゆかりの地を、個人観光客が気軽に周遊できるしくみづくりを推進し、併せて、県身が知る機会、触れる機会を創出する	(6,511)	<p>「宮崎牛すきやき付き宿泊プラン」キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間：H26.12.1~H27.2.28</li> <li>・参加施設：県内14施設(ホテル・旅館)</li> <li>宿泊プランを特別料金で提供</li> <li>(宮崎牛肉質A4等級以上、県産野菜類)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「高千穂コース」利用者1594名、39.9名/回</li> <li>②「那覇・日向・延岡コース」利用者313名、39.1名/回</li> <li>③「那覇・西郷・西米良コース」利用者368名、33.5名/回</li> <li>④「日向・延岡・高千穂コース」利用者408名、34.0名/回</li> <li>⑤「都城・高千穂コース」利用者367名、44.6名/回</li> </ul> <p>○地元観光事業者が宿泊施設と協力しキャンペーンによる新たなツアーの開始や独自プランの開発など、直接効果以外の波及効果が見え始めている。</p>
		「食」の観光推進事業	(10,607)	<p>日本一2連覇を達成した宮崎牛をはじめ、宮崎の「食」の魅力を紹介するPR</p>	<p>観光資源の再発見や県産食材の普及啓発、宮崎牛の新たな食への提案による宮崎県の消費拡大及び観光誘客など、観光向上に繋がった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者実績 544名(昨年度 436名)</li> </ul>
		計	54,470		
		海外誘客対策事業	20,640	<p>韓国・台湾からの本県への誘客促進を図る。</p>	<p>韓国・台湾の旅行会社から本県への送客等が促進されたことにより、県内ホテル旅館等での観光消費が増大し、本県経済の活性化が図られた。</p> <p>【韓国事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソウル宮崎線利用実績 35,525人(4~3月、前年度同時期比97.1%)</li> </ul> <p>【台湾事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台北宮崎線利用実績 34,761人(4~3月、前年度同時期比141.0%)</li> </ul>
		合計(4 誘客対策分野)	97,741	1 団体 7 件	

平成26年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
(1) 県都・児湯広域連携支援	西都市	西都市「食の拠点」施設整備事業	食の拠点ネットワーク計画に位置づけた「食の拠点」の環境整備を行う	12,953	基本設計 ・調査業務 ・設計業務	市外・県外から来訪者に対して、食の情報発信、農産物の販路拡大、地産地消の推進等を図り、交流人口の拡大が図られる。これらの取組により、「食創生都市」が実現できる
	高鍋町	花守山整備事業	高鍋大師周辺の植栽及び時田古墳群との一体的な整備(散策道、駐車場、トイレ等の整備) 事業期間：H23～H27	22,000	排水対策整備 ・安全対策整備 ・景観整備 ・広場整備 ・園路整備	地元住民及び町内外の関係団体との連携を図りながら「高鍋大師」の保存と活用を推進することで、交流型観光地が実現 これまでの整備状況 平成23年度：測量設計業務 平成24年度：園路改修整備等 平成25年度：障がい、排水路等
(2) 西都・児湯広域連携支援	新富町	しんとみスカイパーク構想事業	「スカイパーク」をコンセプトに、新田原基地を観光資源として活用するなど、町の振興、集客の核となる拠点を整備 事業期間：H23～H27	33,000	(1) 町民懇話会の開催等 「新富町スカイパーク構想推進町民懇話会」の開催及び先進地視察の実施 (2) 「海」の拠点整備 カヌー・漕艇建造のための調査及び設計着手 (3) 「結」の拠点整備 基礎整備事業の調査計画等作成業務着手 (4) 案内サイン等設置 文化財等地域資源の案内看板及び説明看板整備着手 【繰越】	(1) 「空」の拠点整備 実施設計(平成25年度事業)の成果を踏まえ、今後、国(防衛省)が施設整備に着手予定 (2) 「海」の拠点整備 富田公園周辺における自然体験活動等の環境整備が整い、体験活動の出発点やスポーツ技術向上が期待できる (3) 「結」の拠点整備 直先施設等拠点施設の立地条件が整備され、農業分野への企業参入等によるモデル的な取組が期待できる (4) 案内サイン等設置 ・町内の観光資源等が有機的に結び、来訪者の回遊性の向上 ・各資源の自然的・歴史的価値に対する理解も促進が期待
	計	3団体 3件		67,953		
(3) 活力ある地域づくり支援	さいとこゆ観光ネットワーク	さいとこゆ観光ネットワーク事業	ファンド事業を活用して整備する拠点を結びつける広域観光ルートの開発、観光パンフレットの作成、合同キャンペーン、イベントの実施等	7,500	○西都児湯鍋合戦事業(11月16日開催) 来場者 17,200人(参加団体 10団体) ○さいとこゆ食の大運動会(2月8日開催) 来場者 7,000人 ○イベント関連パンフレットの作成	西都児湯地域の「農産物、林業・水産物」など、地域の豊富な素材を活かした「食」と「観光」を連携させ、地域内の人のネットワークの構築 ・西都児湯の交流人口の拡大及び疲弊した観光業が再生 ・イベントの実施を通じ、地域間の絆が深まり、互いに西都児湯地域をPRするという繋がりができてきた
	宮崎市	宮崎市90周年記念事業	宮崎市90周年を記念し、地域資源である「食」と「スポーツ」を生かした事業を支援し、地域資源の情報を発信し、地域経済の活性化に繋げる ①食のフェスティバルみややまきき開催事業 ②東アジアリトルシニア野球大会開催支援事業	7,500	①食のフェスティバルみややまきき開催事業 延べ46,000人 平成26年5月10日～11日開催 来場者 ②東アジアリトルシニア野球大会開催支援事業 平成26年5月23日～26日開催 参加チーム 52チーム(うち海外7チーム) 参加人数 1,198人(うち海外147人、県外965人)	①食のフェスティバルみややまきき開催事業 焼肉フェスティバルにより、高崎牛の提供等、また、市内店舗に宮崎産農産物を使用したオアシスグルメを販売するなどの、地産地消及び食の魅力をPRし、販路拡大等が図られた ②東アジアリトルシニア野球大会開催支援事業 スポーツランドみややまききの発信。箱外のチームを誘致したことにより、さらなる国際交流も深まった
(3) 活力ある地域づくり支援	都城市	「みやこんじよ肉井」創生事業	都城地域の肉、地元の牛・豚・鶏肉を使った「どんぶり」を企画開発してもらい、「肉井」(都城市)「杯」を企画し、全国に向けて発信する また、肉井「みやこんじよ肉井」を地元料理として認知させるため、同遊スタンプラリーを実施 平成26年度の肉井のテーマは、「豚」	2,915	○みやこんじよ肉井グランプリ2014 平成27年1月17日～18日開催 6品出品 グランプリ：「黄金メンチカツ丼」	・昨年度「クロスワードラリー」を実施したことにより、「みやこんじよ肉井」が定着 ・また、減少傾向にある施設等の集客アップにも繋がった
	延岡市	「食」を活かしたまちづくり事業	観光資源である「食」を起爆剤として捉え、外部アトバイザーを招聘し研修会等を実施し、課題等を検討 また、「食」を効果的に情報発信するため、「東九州リレーマソンin延岡」を支援し、参加者等に延岡の「食」を体験してもらおう	2,004	○食と観光に関する研修会・意見交換会 第1回目：平成27年1月14日開催 第2回目：平成27年2月18日開催 ○東九州リレーマソンin延岡 ～東九州風土ファンフェスティバル同時開催 平成27年3月22日開催 参加者約8,000名	市民や団体に、様々なレベルで延岡市を盛り上げようとする機運の醸成が見られた。

平成26年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
	日向市	高速道路開通PR事業	東九州自動車道の開通効果を活用し、市の魅力を内外に発信する。	4,455	○福岡ヤフオクドームでの「日向市スペシャルゲーム」の実施 ・観光情報や日向市について、サーフィン等イベント情報告知 ・観光土産物配布 ・福岡県内でのCM放映	・8月の「日向市よっぴこ夏祭り」では、福岡県など県外を中心に、1,816名の踊り手と57,000人の観客を集めた ・お倉ヶ坂や金ヶ坂では、例年に比べサーフィン客の増加 ・高速道路開通が寄与
	串間市	2014全国山菜サミットin串間	基幹産業である農業・漁業・林業が連携したサミットを開催することにより、農林水産業の特色・特産物や観光PRを内外に発信	6,890	2014全国山菜サミットin串間 ・シンポジウム、農林水産まつり、展示会 ・平成26年5月17日開催 4,000人参加 ・定置網網上げ体験、郵便郵便光ツアー 平成26年5月18日開催 16名参加	・シンポジウムでは、山菜の効能や和食がもたらす食生活を紹介することで、生活習慣病の予防や対策を広く周知できた ・また、今回の山菜サミットにおいて、マンゴージャパンや洋食ガキ等特産品の販路開拓も積極できた ・今回の山菜サミットには県外からの来場者が多く、新たに福岡県の市場からの取引もあり、今後の販路拡大が期待される
	えびの市	口蹄疫からの早期復興活性化事業	JR吉都線100周年記念事業等を機に、道の駅を含め、駅道を利用して新たな観光ルートを面的に構築し、地域活力の再生・向上に取り組む。	2,997	オリジナルフリーペーパーの作成 えびの市の食材のPR誌	えびの市の食材のPRにより、特に落ち込む冬場の道の駅等への来場者等の増加に繋げることができた
	三股町	ものづくりフェア補助事業	陶芸、染物、木工・ガラスなどの工芸展示販売会を開催し、情報発信や販路拡大につなげ、地域産業基盤の再生を図る。なお、確実な集客効果を図るため、有名工芸家を招くとともに、地元工芸家との意見交換を行うことで、より技術力向上に繋がる。	4,280	開催日：平成26年6月13日(金)～15日(日) 参加者：13,000人	・イベント終了後、新規の高齢者へ繋がり、産業基盤の再構築及び安定化が図られた ・今後の商談などの展開に大きく寄与 ・工芸家のネットワーク構築され、技術力向上に繋がった ・食に関する今後の商品開発に活かせる取組となった ・売上金額 工芸品販売ブース：600万円 カフェコーナー：10万円 地産地消商品のブース：60万円
(3) 地域 活性化 支援	高原町	口蹄疫等からの早期復興活性化事業	JR高原駅開業100周年を契機とし、周辺地域と共生・共栄を図りながら、地域資源を活かした先進的かつ強創的なサイクリングイベントを実施	2,816	サイクリング協議開催に向けた企画・調査・立案 ・サイクルコースの設置 ・サイクルエデュケーション2015の開催(H27.3.8) ・キッズバイク体験フェアの開催(H27.3.8)	サイクル維持のイベント開催により、本町のPR及び「スポーツ・ツーリズム」の推進に繋がっており、町民との協働関係が構築できた。
	綾町	ユネスコ エコパーク推進事業	ユネスコ エコパークの推進 ①宝探し調査事業 ②フットパス検討事業 ③ユネスコ資料作成	2,250	①宝探し調査事業、検討会の実施等 ②フットパス検討事業 現地調査、先導地調査、地図作成検討会等 ③ユネスコ資料作成	①宝探し調査事業 「川中瀬」の重要性の確認 ②フットパス検討事業 住民とおしの連携が始まった
	門川町	“門川らめーもんコンテスト”と “かどっぴー”によるかどがわの まち発信事業	東九州自動車道開通による門川町のストロロロ化現象を防ぐため、門川町の特産品によるコンテストを観光客を巻き込んで行い、門川ブランドをPRする。同時に門川町のマスコットキャラクター“かどっぴー”を活用することにより、門川町を積極的にPRする。	1,905	①門川らめーもんコンテスト 平成26年11月1日～2日の「いまいきまちフェスティバル」において、門川の「らめーもん」をアンケート形式で実施 ②“かどっぴー”（着ぐるみ）活動事業 各イベントで活動 ③“かどっぴー”（着ぐるみ）活動事業 いまいきまちフェスティバルで披露 ④PRグッズ作成事業 オリジナル商品（絆刺繍）を作成	①門川らめーもんコンテスト” ・513名からアンケート回収 ・コンテストを主催したことで、町内外に改めて門川の良さをアピールできた ②“かどっぴー”（着ぐるみ）活動事業 夏～20回の活動（11月末現在）、広くPR活動を行い、浸透している ③“かどっぴー”ふわふわ遊具作成 賑わい創出に効果的 ④PRグッズ作成事業 かどっぴーの周知を通して、門川を広くPR
	椎葉村	しいばの魅力！徹底セールス事業	椎葉村の魅力や地域資源を積極的にアピールし地域活性化を図る。 ① 都市部での「郷土芸能と食のタベ」の開催 ② 夜神楽オールドナイトツアーの開催 ③ 椎葉村特産加工品の魅力アップのためのリデザイン	1,806	①「椎葉村産食材試食商談会・椎葉郷土芸能と食のタベ」 期日：平成26年11月26日 会場：ホテル・イルパラス向会場 商談会・タベ共に向会場 出席者：5社（市内出向者等） 参加者：22社、32名（福岡市内の飲食店、流通業者） ②「夜神楽オールドナイトツアー」 ※上椎葉神社に合わせ実施 期日：平成26年12月13日～14日 会場：鶴宮神社 参加者：18名（鹿児島県内） ③「特産品リデザイン」 5品目目のリデザイン（椎葉村のブランドロゴ作成）	・商談会を通じて、福岡市内の飲食店や流通関係者と信頼関係が構築でき、これまで販路がなかったルート開拓の足がかりが生まれた ・また、芸能と食のタベ開催により、椎葉の食材を使ったコース料理や郷土芸能の披露・観光地PR等、情報発信の場となり、旅行会社・マスメディア関係者に、椎葉の素晴らしさを知らしてもらおう事が出来た。

平成26年度宮崎県人口降疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
5 活力ある地域 づくり支援	高千穂町	恋い来い応援事業	高千穂町の若者が高千穂の素晴らしい自然景観や伝説文化、さらには豊かな食文化を町内外の若者と交流をとおしながら、広く全国にアピールし、交流人口の拡大と地域経済、地域全体の活性化、さらには少子化、脱糖化の解消を図る。 ①交流促進及びPR活動のための研究会、勉強会、ワークショップの開催 ②全国の若者と地元の高千穂の若者の出会いの場の演出(婚活イベント)の開催	3,750	①研究会 ・6回開催予定(12月～3月) ・交流やPRで必要なおもてなし意識の向上と好感度UPを目標とした講座などのワークショップを開催 ②出会いの場の演出(婚活)をテーマとした「高千穂男人材の磨き上げと交流(婚活)をテーマとした」研究会を開催(12月～3月)	人材育成 ・講座や実践型ワークショップを通し、おもてなし意識が向上し、人材育成に繋がる ・高千穂町PRの推進 ・東九州自動車道開通や宮崎～神戸市間のフェリー航路により、宮崎市や関西からのアクセスが向上したことから広くアピールをすることで、高千穂町の知名度向上と観光客誘致に大きく寄与する
	日之影町	縁のふるさと協力隊と連携した都市部との交流促進事業	歴代のふるさと協力隊員とのネットワークを活用し、都市部での物産展などのPR活動を行い、交流人口の増を図る。 ①農林業を核とした交流物産展事業 ②日之影町農公演事業	1,500	①農林業を核とした交流物産展事業 はおすぎ市、湯折：六本木朝日神社 平成26年7月11日～12日開催 ②日之影町農公演事業 六本木中学校	中山間地域の重要性を広くPRし、都市住民との交流や中山間地域の経済活性化を促進するなど、新たな交流の輪を広げることができた
	五ヶ瀬町	日向往還山頭火交流プロジェクト	日向往還山頭火交流プロジェクトとして、更なる観光客誘致、文化振興を図るため、本町の歴史的財産である日向往還をコースとしたウォークラリーの開催及び町内児童生徒の自由律俳句大会の作品募集・表彰式を開催。	1,675	○日向往還ウォークラリーコース「戸の口橋(石橋)」補修整備(11月完了) ○平成26年度日向往還山頭火交流プロジェクト自由律俳句大会の開催 ・表彰式：11月11日 ○日向往還山頭火ウォークの開催 ・平成27年3月21日に熊本市上基城郡山都町での開催に併せ、「日向往還山頭火ウォーク」を本町でも開催	○戸の口橋(石橋)の補修整備 ・ウォークラリーコースの一部として確立することができた。 ・町民をはじめ観光客へも地域資源としての存在を知らしめ、観光資源としても活用できるものとなった。 ○日向往還山頭火交流プロジェクト自由律俳句大会 ・町内の小中学校を対象に作品募集 ・文化振興を体付かせる一歩となった
計			14団体 14件	49,243		
合計(5地域振興分野)			18団体 18件	124,696		



平成26年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
(1) 連携・協働復興支援	NPO法人 みんなのくらし スターミナル	「ふれあいの居場所」を核とした人と地域のつながりにより新たな地域づくり創出事業	<p>都農町に開設した地域住民の集いの場「ふれあいの居場所」を核に、地域づくりの活動の場として広げ展開し、その取組を先駆的なモデルとして、地域づくりの活動を創出する</p> <p>事業期間：H23～H27</p>	2,000	<p>(1)年間通して継続的に行った取り組み ・居委會(毎週火曜・金曜日開催) ・まちの保健室(月1回開催) ・居場所ではやべらナイト(月1回開催)</p> <p>(2)その他の主な取り組み ・傾聴講座 ・相談等受入れ(10件) 高橋社協 県社協 各県内自治体職員 オレンジコアエみやこみやこ(都城市) ・クリスマスマス会(町民図書館共済) 絵本の読み聞かせ、もちつき等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数 1日平均約10名</li> <li>居委會 利用者の固定化しつつあるが、お宅訪問も実施</li> <li>開敷から4年目に入り、居場所の活動も認知され、人とのふれあいやつながりを求めている方が増えてきている。</li> <li>また、今年度は相談が多く、「居場所」をやりたいという人が増えるなど様々な立場の利用者が増えることで、利用者とおしの助け合いも見られるようになった。</li> </ul>
			計	1団体 1件	2,000	
(2) 復興メモリアル支援	「水平線の花 火と音楽5」 実行委員会	水平線の花火と音楽5	<p>口蹄疫・鳥インフルエンザ、新燃岳被害から立ち上がる宮崎の元気を県内外にアピールするイベントの開催</p>	2,000	<p>イベント：平成26年10月19日開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口蹄疫の被害を風化させないことや復興への思いの発信</li> <li>口蹄疫、新燃岳被害といった宮崎県内で起きた事前災害を再認識するとともに、再発防止を県民の復興への“思い”を県内外に広く広げ、口蹄疫等の被害に対する継続的な支援の必要性を改めて認識させる役割となった。</li> <li>観客数：約11,000人</li> <li>花火：10,000発</li> <li>J.A.うめつちやが市/宮崎県産品の販売ブース</li> </ul>
			計	1団体 1件	2,000	
(3) 財団直接実施事業	口蹄疫復興財団	口蹄疫等防疫対策等情報発信事業	<p>口蹄疫メモリアルセンターの展示内容の拡充等</p>	1,862	<p>口蹄疫メモリアルセンターの開催等 ・平成26年8月24日開催 ・参加者：83名(うち子ども41名) ・スタンプラリーや県産食肉の消費拡大事業の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口蹄疫メモリアルセンターは、小中高校の遠足や校外学習さらに大学のゼミにも活用されるなど、口蹄疫の経験をしつかりと記憶にとどめ、語り継いでいく拠点施設として有効に活用されている</li> <li>今後も風化させない取組の強化や、県内外への発信等、当センターを拠点として展開していく</li> </ul>
			計	1団体 1件	1,862	
合計(6 その他)			3団体 3件	5,862		
総計			48団体 54件	610,388		